



学校だより

初代校長 佐藤 光 先生書

7月号

No.492

〒187-0011 小平市鈴木町 1-450 Tel 042(324)3661 Fax 042(324)3662
 HP <http://www.kodaira.ed.jp/18kodaira/> E-mail gakkou@18.kodaira.ed.jp

「〇〇先生、いますか。」

副校長 荒井 賢志

先日は、学校公開・道徳授業地区公開講座に多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。延べ、370名ほどの保護者、地域の方々にご来校いただき、改めて、鈴木小学校が多くの皆様に支えられていることを実感しました。心より感謝申し上げます。

さて、その学校公開の際に、たまたま保護者の方から、「最近家で、子供の言葉遣いが気になる。学校ではどうですか。」というお話をいただきました。学校評価のアンケートでも、気になる点として、言葉遣いを挙げている方が少なくありません。学校では、子供たちの言葉遣いは確かに課題となっていて、正しい言葉遣い、授業中と休み時間の違い、目上の人に対する言葉遣い等を、全教職員が一丸となって指導を続けているところです。

例えば、職員室のドアをノックして、いきなり「〇〇先生いますか。」と話す子供には、すかさず、「もう一度」と教職員が声をかけます。すると子供はすぐに「〇年〇組の〇〇です。〇〇先生は、いらっしゃいますか。」「〇〇をお願いします。」と言い直します。(子供に分かりやすく、ドアに話し方の手本が表示されています。) 6月のふれあい月間では、学校全体や各学級で、いじめ防止の指導や子供たちへのアンケート調査等を実施し、いじめや暴力のない楽しい学校生活づくりに取り組みました。これも基本となるのは、日常のコミュニケーションすなわち言語活動や言葉遣いが大きく影響します。また、代表委員会では友達同士で、「ふわふわことば(言われて嬉しかった言葉)」を使うように心がけることを呼びかけ、アンケート調査をし、使われたふわふわ言葉を朝会で発表する活動も行っています。

丁寧な話し方には、丁寧に受け答えたくなります。乱暴な話し方やぶっきらぼうな会話には、答えたくなかったり、言い返したくなったりもします。これは子供も大人も同じです。

江戸時代の蘭学者が「世の乱れは言葉の乱れである」という名言を残しました。「言葉は心の使い」(心に思っていることは自然と言葉に表れる)という故事もあります。子供が言葉を覚えるのは、家庭や学校や地域です。大人が正しく、美しい言葉に気を配って話す。そして、乱暴な言葉、間違った言葉遣いはその場でしっかり注意する。家庭や学校でこうしたことを心がけることで、子供は正しく、美しい日本語を話すようになるのだと思います。また、目上の人に敬語を使う親の姿がある家庭、家族の間でも丁寧な言葉遣いをする家庭の子供は、敬語も丁寧語も使えるようになると思います。学校と家庭が協力して、正しい言葉遣い、正しい敬語を耳にすることができる環境づくりを心がけていきたいものです。

昨日のたてわり班遊びで、6年生が転んでしまった1年生の手をとり、「大丈夫だよ。」と優しく声をかけながら保健室に連れて行く姿を見かけました。その言葉がけがごく自然で、6年生の微笑みを浮かべた態度には余裕さえ感じられました。下級生の手本となる上級生が多く、鈴木小の誇りです。

7月の予定

2日 委員会活動
 3日 5時間授業 保護者会(上学年)
 4日 特別時程5時間授業 車いす体験(5年)
 5日 都学力調査(5年) 保護者会(下学年)
 FC東京選手会(高学年)
 9日 クラブ活動
 11日 避難訓練

14日 土曜授業日 特別時程4時間

18日 月曜時程

19日 給食終 通級終

20日 特別時程4時間 終業式

23日 夏期水泳始(8/8まで)

サマースクール始(7/23、25、26 3日)

あいさつ目標 「名前をよばれたら大きな声で返事をしよう」

生活目標 「ことばづかいに気をつけよう」

「言葉」は、人を幸せにしてくれたり、生きる力を与えてくれたりする「マジックのような力」を持っています。人に勇気や知恵をもたらしてくれるのも「言葉」によるところが多いものです。でも、使い方を間違えると人を傷つけたり、喧嘩のもとになったりもします。自分の気持ちや考えを「言葉」を正しくつかって話せるように指導していきます。また、私たち大人が、少しでも子どもたちへ、よき言葉遣いのお手本となるように努めたいものです。保護者、地域の皆様もご協力よろしくお願いします。

6月6日（水） 体力テスト

全校児童が体育館に集合し、開会式、準備運動の後、ソフトボール投げ・握力・長座体前屈・伏臥上体起こし・立ち幅跳び・反復横跳びを行いました。児童はどの種目にも精一杯取り組んでいました。2～6年生は昨年度の記録と見比べ、自分の記録の伸びを確かめていました。1年生は初めての体力テストでしたが、一生懸命取り組んでいました。



6月11日（月）～13日（水） 移動教室

雨の中始まった移動教室でしたが、1年生の作成したてるてる坊主のおかげで、全行程を無事に終了することができました。往路のバスの中から、雲海を見ることができました。飯盛山頂上は、一面真っ白の雲の中でした。神秘的な様子に子どもたちも感動していました。レインコートを着て登山した後の、ソフトクリームは格別でした。様々なワークショップや飯ごう炊飯、古墳見学など普段学ぶことができないことを、たくさん学習した3日間でした。

小中連携の取り組み

小平市では、中学校区ごとの教員が集まり「小中連携教育」が行われています。三中校区は、二小、九小、鈴木小、三中となっており、今年度は第三中学校に集まって情報交換をしました。

三中校区では、義務教育9年間を見通し、「学力向上」「体力向上」「健全育成」「特別支援教育」「キャリア教育」の5つの視点から、児童・生徒の状況や授業改善等について協議をし、小・中連携教育の推進に資する機会としています。さらに、今年度は、教科ごとに分かれて情報交換を行いました。小学校と中学校で共通して重視したいことや小学校のうちに身につけさせなければならない学習や学校のきまり等を確認しました。これらの情報を本校の授業を通して伝えたり、活かしたりしてまいります。

6月23日（土） 道徳授業地区公開講座

東京都全体で今年度17回目となる道徳授業公開講座を行いました。本校の重点項目「集団や社会との関わり」の中から授業をしました。各学級「規則の尊重」「勤労・公共の精神」「よりよい学校生活、集団生活の充実」などを考え合いました。意見交換会では、「道徳って何だろう？」や「思いやりって？」のDVD（東京都教育委員会監修）を視聴し、意見を交換しました。授業では何でも言える学級、日常の行動では、大人が見本を見せていくことの大切さなど多様な意見交換となりました。最後に本校の取り組みや評価・お願いをお伝えしました。



毎日の学校の様子はホームページでもご覧いただけます。



小平市立鈴木小学校 ホームページ

検索

